

2025 年度事業報告

2025 年度においては、以下の事業、活動を行った。

1. 会報の発行

会報「フィリピン」を年 4 回発行し、フィリピンの直近 3 ヶ月の経済情勢につき詳細なデータの入った記事を掲載した。マルコス大統領の一般教書演説、日比間の首脳の往来や会談の開催等、フィリピンや日比関係について重要な出来事があった際には、できる限り詳細な解説記事を掲載した。文化関係の連載記事も継続した。

下記2. の講演会の概要を直後の会報に掲載するとともに、フィリピン日本商工会議所、マニラ日本人会からも、活動報告を盛った投稿を得た。

2. 講演会の実施

- ① 2025 年 5 月 27 日、JETRO アジア経済研究所 鈴木有理佳 主任研究員に「フィリピンの経済情勢～マルコス政権の取り組み～」と題する講演を行って頂いた。
- ② 同年 10 月 1 日、丸紅フィリピン会社 下田 茂 社長に「フィリピンのビジネス・投資環境の現状～改善に向けた日系企業の取り組み～」と題する講演を行って頂いた。
- ③ 同年 11 月 18 日、国際通貨研究所 浅川雅嗣 理事長(前 ADB 総裁)に「アジア経済の見通しとリスク」と題する講演を行って頂いた。
- ④ 2026 年 3 月 12 日、遠藤和也 駐フィリピン大使に「最近のフィリピン情勢と日比関係」と題する講演を行って頂いた。

なお、会場への参集に加えて Web 聴講も可能とする方式を続けた。また、直後の立食懇親会は、会員間の情報交換、懇親等に資したと考えられる。但し、上記②だけは、マニラからの Web による講演会となった。

3. 親善・交流に関する活動

当協会のカウンターパートである The Philippines-Japan Society(比日協会)が毎年 7 月にマニラで主催する「友好の夕べ」に、当協会から会員が出席し、友好親善に努めた。

4. 冬物衣料のフィリピン人看護師・介護福祉士候補への寄贈

会員の家庭で着られなくなった冬物衣料を来日した看護師・介護福祉士候補に寄贈する活動は、2016 年度より毎年実施してきたところ(2020 年度のみ、コロナ禍によりこれら候補が来日できず、本件活動は実施できなかった)、2025 年度も、会員から多大の協力を得て継続し、大変感謝された。

なお 2025 年度末の法人会員は 46 社、個人会員は 90 名であった。

(以上)